

軸性不斉 DMAP 型触媒の開発と絶対配置の推定

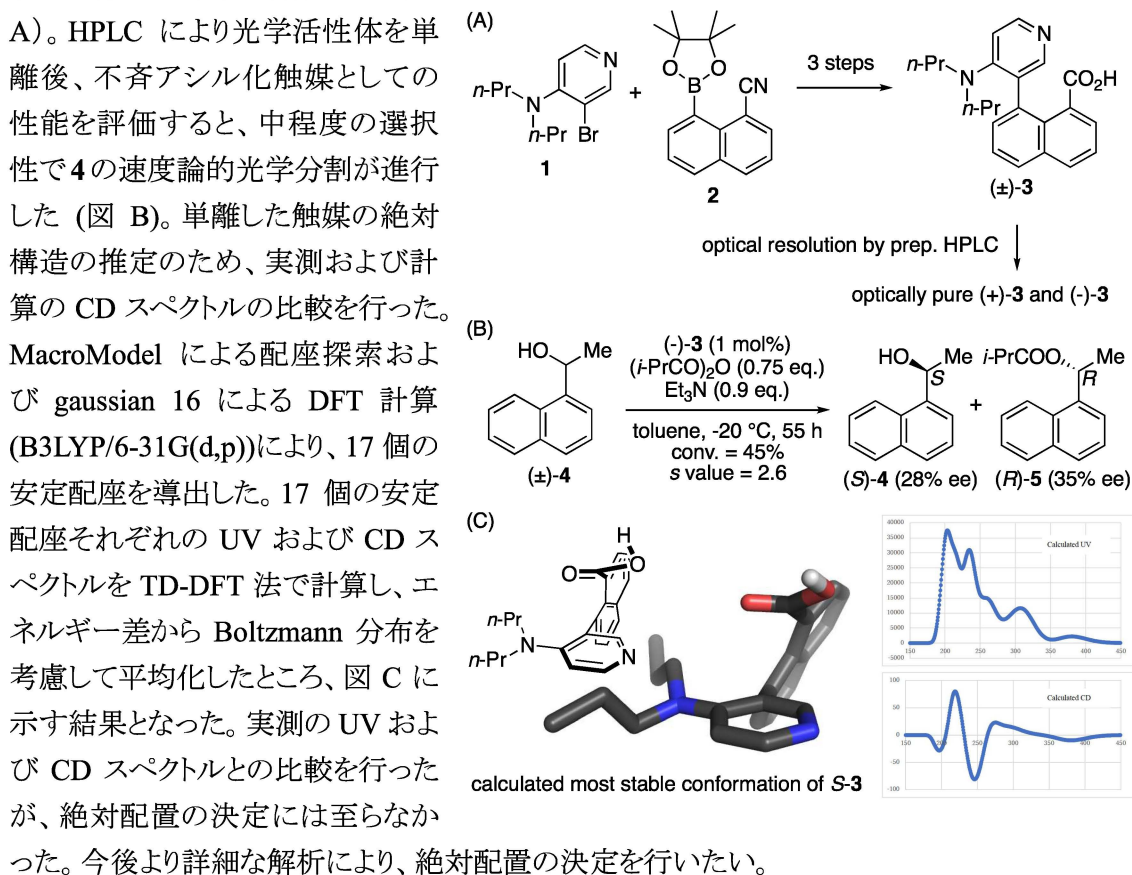
Development of Axially Chiral DMAP-Type Catalysts and Analysis of Axial Configuration

京都大学化学研究所 精密有機合成化学研究領域

上田 善弘

研究成果概要

4-ジメチルアミノピリジン (DMAP) は水酸基のアシル化に汎用される求核触媒である。触媒とアシルドナーとから生成するアシルピリジニウムイオンが触媒活性中間体と想定され、水酸基が活性アシル基に求核付加する律速段階において、カウンターアニオンが一般塩基触媒として水酸基の脱プロトン化に関与する遷移状態が提唱されている。新たな不斉 DMAP 型触媒として軸不斉及び一般塩基触媒作用が期待されるカルボキシル基をピリジン環近傍に有する触媒 **3** を設計・合成した (図



発表論文(謝辞あり) なし

発表論文(謝辞なし)

R. Nishino, S. Hamada, R. Elghareeb, Y. Ueda, T. Kawabata, T. Furuta, *Chirality*, *in press*. DOI: 10.1002/chir.23207.